

なんで“ギン(銀)”ヤンマ?

真夏の太陽がキラキラと照りつける湖面をすごいスピードで飛び回っているトンボがいます。大きさは7cmぐらいで、若草色の頭と体に腰の部分が明るい水色をしています。ギンヤンマのオスです。平均時速60km、最高時速100kmと恐るべき速さで、縄張り内を警戒飛行しています。

しばらくすると、水色部分がないメスと連結し、メスは産卵を始めました。腹部先端にある産卵管を水草の茎に突き刺し、植物組織内に卵を産み落とします。ただ水や泥の中に卵を産み落とすよりも、もっともっと安全な方法で子孫を残すなんて「すごいなあ〜!」と思います。

ところで、なんでギンヤンマ? 为什么呢。飛んでいる姿や写真を見ても、どこにも「銀色」部分は見あたりません。でも、あるんです! どこによって?

下写真をよ〜く見てください。オスの水色部分後ろの裏側部分が「銀色」なんです! だから名前が「ギンヤンマ」。筆者は、銀色にこだわらず、「他の名前でもいいのになあ〜!」と思いました。あなたも、どう思いますか?



森の日記

ミツバチってすごい!

6月12日(日)

毎年、参加申込殺到の「ミツバチ教室」。講師の養蜂家さんから“ミツバチのお話”がありました。本物のミツバチの巣が観察できる手作り装置に、ちびっ子たちが目を輝かせて、興味深く見入っていました。「一匹だけ、体が大きいのが女王蜂なんだ!」「小さくて、すごくたくさんいるのが働き蜂だね」「茶色で、ドロ〜ンとしているのが蜂蜜かな?」

この後、遠心分離器で“蜂蜜しぼり”を体験しました。そして、自分たちでしぼった蜂蜜を小さな食パンに垂らせて、試食会開始!「あま〜い!」「おいしい〜!」の歓声が上がりました。



教室のご案内

8月

川の生き物教室 (要申込・定員20人)

8月7日(日) 午前9時~11時30分

川の生き物の観察と飼育方法を学びます。

昆虫教室 (要申込・定員20人)

8月14日(日) 午前9時~11時30分

昆虫採集や観察の仕方を学びます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

8月28日(日) 午前9時~11時30分

夏の野鳥を観察します。

9月

草木染め教室 (要申込・定員20人)

9月11日(日) 午前9時~11時30分

草や木を煮出して白い布を染めます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

9月18日(日) 午前9時~11時30分

初秋の野鳥を観察します。

恒例の陶史の森まつりは9月24日(土)に開催します。

